



電気式携帯振動台 電動ぶるる



電気式携帯振動台は簡単な操作で振動現象を体験することが出来、長短2種類の振り子の揺れ方の違いを観測することが出来ます。また、組立式の2階建模型も用意しており、建物の耐震・制震の原理を観察することもできます。大学や高専・高校での振動論の講義や、簡単な振動実験、免震・制震建物の普及のためのデモンストレーションに役立ちます。

用途

本装置は学習教材として、以下の教育に利用できます。また、ケース一体型であるので、講義等の場所への持ち運びもできます。

- 1質点系の揺れの、ばねの長さ、錘の重さの違いによる変化。
- 2階建模型と筋交いや壁による耐震の原理。

主な仕様

加振装置

加振方法	: 電気式
加振周波数	: ボリュームで可変(1~8Hz)
加振方向	: 長辺方向
ストローク	: ±5mm以下
寸法	: 約 295×210×170mm

■ 2階建模型

建物本体 (約 160×15×210mm)	: 1個
屋根	: 1個
耐震壁	: 2個
制震ブレース	: 2個

振動模型

- 振り子模型
長さ 15cm、巾 15mm : 1個
(クリップにより錘を代用)

- 長さ 21cm、巾 15mm
(2階建物と兼用)

ケース他

寸法 (蓋着脱可)	: 約 485×250×230mm
総重量	: 約 3.5kg

参考 近年の主な地震の卓越周期

兵庫県南部地震	: 0.4~1.0sec
鳥取県西部地震	: 0.6~0.9sec
芸予地震	: 0.2~0.25sec
宮城県北部地震	: 0.9~1.8sec

